







沖 縄

沖縄の景気は、個人消費が好調を持続したものの、観光は好調な動きが一服するなど、拡大に一服感。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心にスーパー販売が減少したものの、好調な中元商戦により百貨店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、好調を持続。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、足踏み。設備投資は、建築着工床面積が減少するなど、足踏み。公共工事は、独立行政法人等、県が増加したものの、国、市町村が減少するなど、足踏み。輸出は、再輸出品、金属鉱・くずが減少するなど、やや弱含み。

生産活動は、金属製品、窯業・土石製品が減少したものの、食料品、化学、石油製品が増加するなど、横這い。観光は、台風の影響などから国内客・外国人客ともに減少するなど、好調な動きが一服。雇用は、有効求人倍率が上昇、完全失業率が低下するなど、改善。

先行きは、拡大の動きに一服感が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
↓ 							↓ 